

宗内寺院紹介 **83**

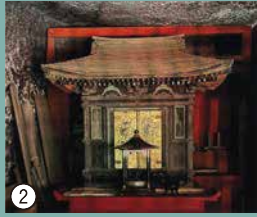
信越教区佐久部

布引山ぬのびきさん曝巖院ばくがんいん

釋しゃく尊そん寺じ



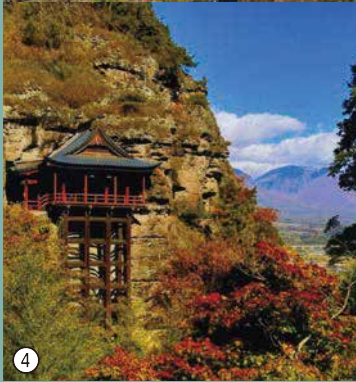
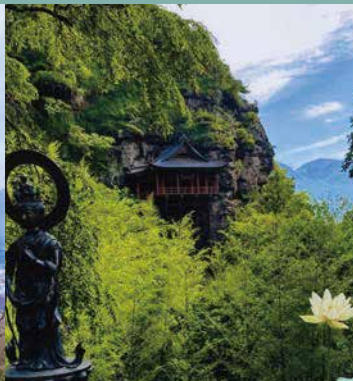
①



②



③



④



- ①本尊阿弥陀如来 ②観音堂内宮殿（重要文化財）
③観音堂より本堂方面の眺望 ④春夏秋冬

布引山曝巖院釋尊寺、神龜元年（西暦七二四年）四月、行基菩薩の開山と伝えられ本尊は阿弥陀如来。
本堂と向かい合う観音堂は懸崖造りとなっており、崖の中腹にはめ込むように造られ脚柱が崖の下から支えている。聖観世音菩薩、馬頭観世音菩薩、十一面観世音菩薩を安置。戦乱の世の中に於いて幾多の焼失再建を経て現在の様相に至る。
観音堂内宮殿（写真参照）、正嘉二年（西暦一二五八年）の建立で入母屋造、梅鉢懸魚、臺股は鎌倉時代の得難い建築と評され、昭和十一年九月十八日、国宝（現在は重要文化財）に指定されている。

信越教区佐久部
布引山 曝巖院 釋尊寺

住 所 / 〒384-0071 長野県小諸市大字大久保2250
電話番号 / 0267-23-0520